

夏季のVOC排出削減にご協力をお願いします！

夏場は気温が高く、とくに有機溶剤が蒸発しやすい時期です。

なぜ、VOC対策が必要なのか？

VOC(揮発性有機化合物 Volatile Organic Compounds)は有害な**光化学オキシダント**の主要な原因物質です。

光化学オキシダントが高濃度になると光化学スモッグが発生します。



●VOCの例

- ・トルエン…塗料やインキ
 - ・トリクレン(トリクロロエチレン)
 - ・塩化メチレン(ジクロロメタン)
- …金属や機器の洗浄溶剤

●VOCの特性

- ・蒸発しやすい
- ・大気中で窒素化合物(NOx)とともに太陽光を受けて、光化学オキシダントを生成。
- ・浮遊粒子状物質(SPM)や、微小粒子状物質(PM2.5)を生成。

●光化学オキシダントの影響

- ・健康への被害(目や喉への刺激など)
- ・農作物への被害。

なぜ夏季の対策が重要なのか？

光化学スモッグ注意報※は、**夏季に多く発令**されます。

※光化学オキシダントが高濃度(0.12ppm)となり、その継続が見込まれる場合に発令



光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件

- ① 最高気温が25℃以上
- ② 日照がある
- ③ 東京湾や相模湾から海風の進入がある…など

夏季(6月～9月)は条件が揃いやすい

なぜ近隣都県市と連携した取組が必要なのか？

夏季の光化学オキシダントは、**広い範囲で高濃度**になります。

高濃度の光化学オキシダントが広い範囲で発生することから、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・さいたま市・千葉市・相模原市が夏季のVOC排出削減を共同で呼びかけています。

VOC発生の少ない塗料を使用しましょう。

水性、ハイブリッド(低溶剤)系、弱溶剤

外壁塗装工事の施工例



外壁塗装工事で水系塗料を使用
従来仕様(溶剤系塗料)と比べ、

VOCを81%削減

鋼道路橋工事の施工例



塗装工事で水系塗料を使用
従来仕様(溶剤系塗料)と比べ、

VOCを88%削減

塗料の保管・貯蔵管理を徹底しましょう。

- ◎直射日光を避け、通風の良い場所に保管しましょう。
- ◎容器の破損などによって塗料や溶剤が漏洩しないよう、丈夫な材質の容器を使用しましょう。
- ◎調合には、はかりを使用し、取扱説明書以上に希釈しないようにしましょう。
- ◎かくはんのために缶上部を切って開封した場合は、シートなどで、密閉化しましょう(右図)。
- ◎洗浄用の溶剤は一時に大量に用いず、少量ずつ回数を多くしましょう。



塗装時期について、夏季から それ以外の時期への変更を検討しましょう。

横浜市 環境創造局 環境保全部 大気・音環境課 大気担当

【住所】〒231-0016 横浜市中区真砂町2-22 関内中央ビル8F(87番窓口)

【電話】045-671-3843

【FAX】045-671-2809